



運動会のスローガンが決まりました！

前途洋々

本年度も、子供たちが運動会を成功させるため、また自分たちを鼓舞するため、大会のテーマとも言えるスローガンを考えました。まず、学級でキーワードを三つ出し合い、それらを企画運営委員会でまとめました。なお、各クラスのアイデアが生かされる形でまとめられました。その結果、本年度のスローガンは下記に決定しました。

今日はみんなが主役！

～ 笑顔いっぱい、元気いっぱい、あきらめないでせいいっぱい ～

前の号でもお伝えしましたが、「最後まであきらめないでやりぬく」ことに若干課題が見られる本校。「あきらめない」ということは、他人と比較するのではなく、自分の納得のいくまで、ということだと思います。ぜひ、たっぷりの充実感と共に、練習、本番を乗り越えてほしいものです。



5月「のびっこ集会」～ 運動会へ向けて～

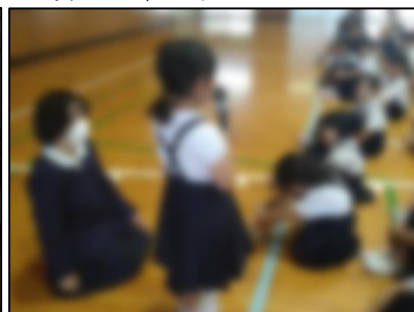


5月の生活目標は「けじめをつけよう」です。それぞれの学年で考えた目標の中に、キーワードとなるような言葉がたくさん出てきました。

- 休み時間と授業中のけじめ ○ チャイムの合図を守る。
- 自分でしっかり考えて動く。自分の言葉で最後まで伝える。
- チャイムが鳴る前に、授業の準備 等々・・・

「人から言われて・人から急かされて」、ではなく、「自律的」に動くことができるかどうかという点に期待したいと思います。また、今回は委員会からの発表がなかったため、運動会へ向けて、児童個人の目標を発表してもらう場を設けました。学級で、すでに考えている児童が大半でしたが、それを学年の枠を越えて全体で共有するのも意義のあること。こういう場に慣れてきたということ、安心して発表できる集団であるということもあり、全体の5分の4位の児童は「はいっ！」と手を挙げてくれます。

中には、「ソーラン節を大きな動きで踊ることを頑張りたい」と具体的に話してくれた児童もいました。前号でも述べたように、人と比べるのではなく、自分と向き合って「とことんやる力」を伸ばすとき、どうぞ応援をよろしくお願いします。（写真左：集会の様子、右：1年生が運動会へ向けて頑張りたいことを発表しています）



少し（私的な）昔話

先週のことになりますが、青海保育園・青海中学校で共に過ごした旧友と会う機会がありました。しっかり話をする形で再会するのは、実に中学校卒業以来ですから、41年ぶり。ですが、久しぶりに会っても、互いの近況、当時の学校の話、本校区・地域の話でたいへん盛り上がりしました。現在、全員、三角ではない場所に居住していますが、地元への愛着は年齢を重ねるごとに形を変えながら現れるようです。「昔は、1年生から6年生まで全員大岳山山頂に遠足に行っていた」「こどもの日、集落内の放送を使って、子どもカラオケをイベントとしてやっていた」「夏は、保護者が海を清掃してプール開放ならぬ『海開放』で泳ぐ練習をしていた」などいろいろな話が……。ちなみに大岳山山頂への遠足は本校の井上先生が大岳小にお勤めだった25・26年ほど前にもやっていたそうです。そして不思議なもので、何年経っても昔なじみの名前は忘れないものですね……。年をとると昔の記憶の方が鮮やかになるような気がします。「大岳小の校舎がなくなった」という話をしたら、2人とも寂しそうでした……。 （写真は旧校舎。記憶はカラーですが）

